

Industrial Property Cooperation Center

一般財団法人 工業所有権協力センター

専門技術者(主席部員)採用

調査業務センター長からのメッセージ

専務理事
調査業務センター長

小柳 正之



一般財団法人工業所有権協力センター（IPCC）は、1985年（昭和60年）に設立されて以来、30年以上にわたり、特許庁における特許審査に不可欠な先行技術文献調査や特許出願への分類付与を行ってきました。その累積件数は、先行技術文献調査が350万件、分類付与が3,100万件を超えています。数ある登録調査機関の中でも、もっとも歴史が古く、特許の先行技術文献調査や分類付与における実績は、業界ナンバーワンと自負しております。2015年からは、これまでに培ってきた経験をもとに、特定登録調査機関として、企業や大学、研究所、特許事務所等からの先行技術文献調査のご依頼も直接受注しております。

特許が事業戦略を裏打ちする観点からますますその重要性を高めてきていることは、改めて申すまでもありません。安心して事業に打って出られる特許を得るためには、出願人にとってはもちろんのこと、出願を審査する特許庁にとっても、まずは品質の高い先行技術文献調査が必要となります。

また、特許文献を最大限に活用して次なる新しい技術開発につなげていくためには、新しい特許出願に対して的確な分類を付与することが不可欠です。このような観点から、IPCCに対する期待、またその果たすべき責務は、より一層高まってきております。

現在、IPCCには約1,600名の技術系職員が在籍し、日々、先行技術文献調査や分類付与業務に携わっております。いずれの業務におきましても、まずは特許出願に盛り込まれた最先端技術に関する発明を正しく理解することが必要であり、優れた技術力が求められます。そのため、IPCCに勤務する技術系職員は、わが国のあらゆる技術分野において、その最前線で活躍してきた技術者から選抜された人たちであります。

現在、わが国は、1 億総活躍社会の時代を迎えております。IPCCでは、志ある技術者により長く勤務していただくため、雇用上限を67歳としております。健康を維持し、顧客からの評価の高い方であれば、さらに73歳まで勤務していただく道も設けております。

技術者の皆さん、これまで培われてきた技術知識を大いに活かし、高度な技術者集団の一員として、わが国の知財立国に貢献されてはみませんか？ IPCCは、意欲にあふれる技術者を求めています。

目次

1. IPCC の業務 3

2. 組織、人員 5

3. 主席部員の業務 7

4. 先行技術調査業務の概要... 8

5. 1 日を知る 9

6. 魅力を知る 10

7. 先輩を知る 15

8. 採用までの流れ 20

9. よくある質問 21

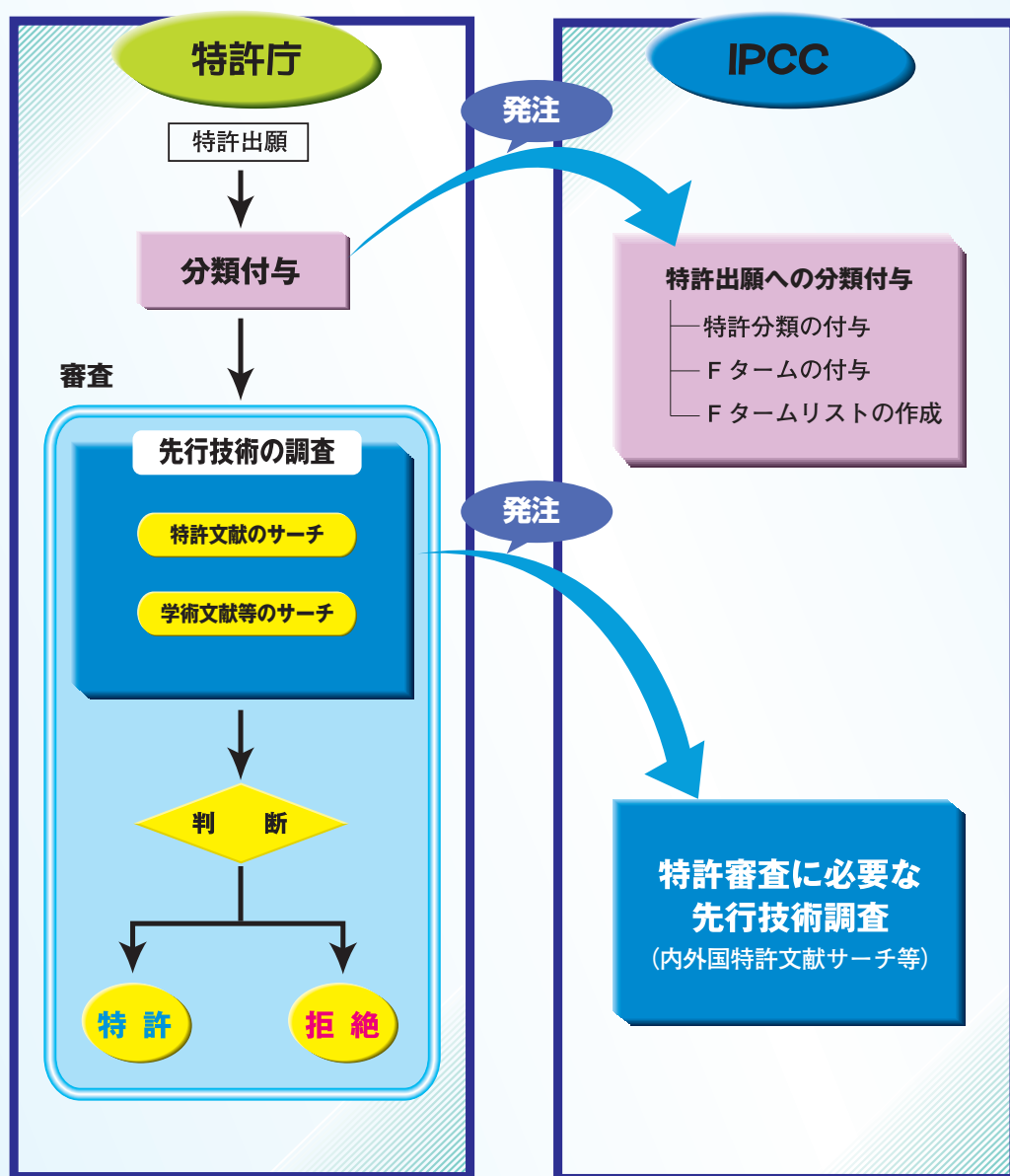
■特許庁から先行技術調査等の発注を受ける登録調査機関としての業務（「工業所有権に関する手続等の特例に関する法律」に基づく）

- (1) 特許審査に必要な内外国特許文献等の先行技術調査
- (2) 特許出願等への分類付与による検索データベースの作成

■出願人等から先行技術調査依頼を直接受付ける、特定登録調査機関としての業務

■公益目的事業

- (1) 特許検索競技大会
- (2) 大学知財活動助成



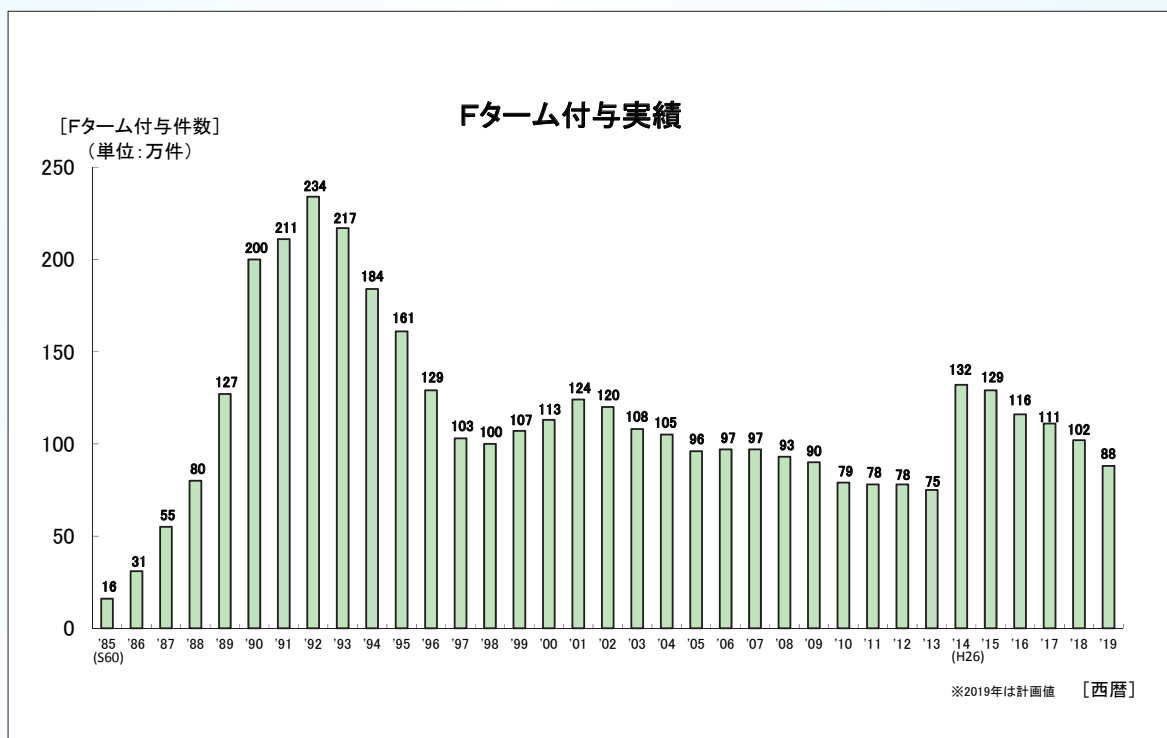
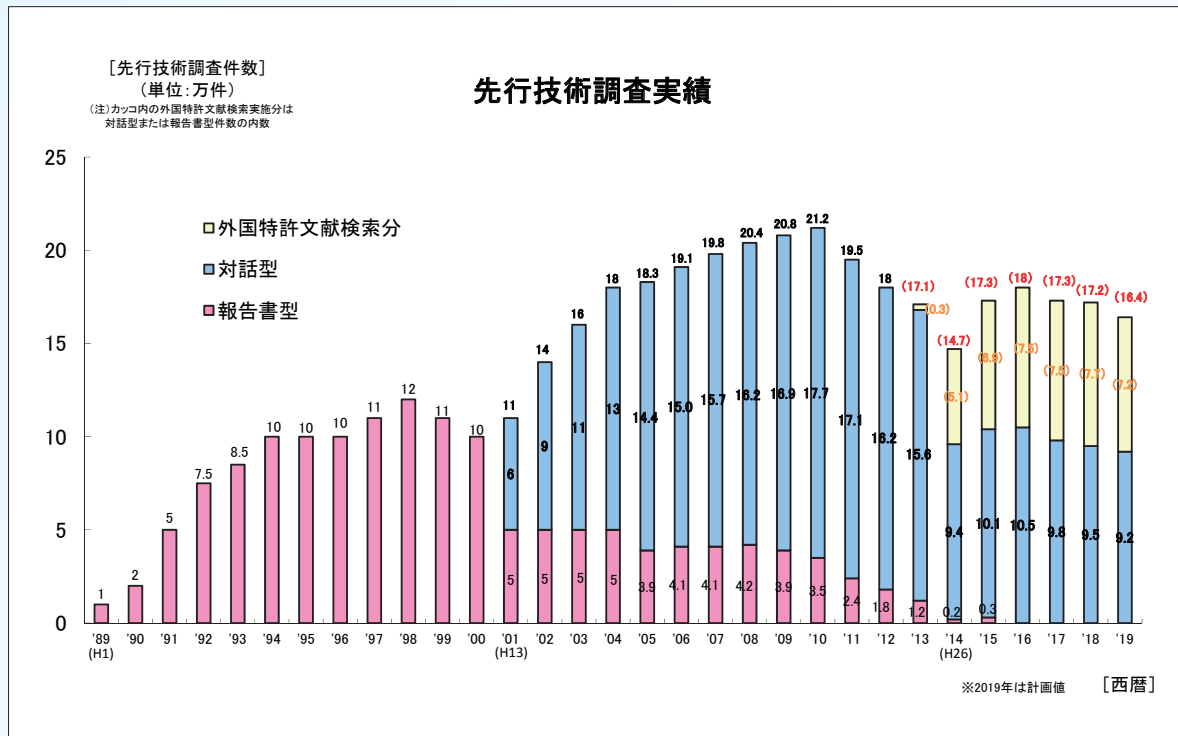
(注) Fタームとは、先行技術調査を効率的に行うために特許庁が開発した我が国独自の特許技術分類

主要業務実績（2019 年度計画）

■先行技術調査：約9.2万件（内、7.2万件は内国特許文献の他に外国特許文献検索を実施）

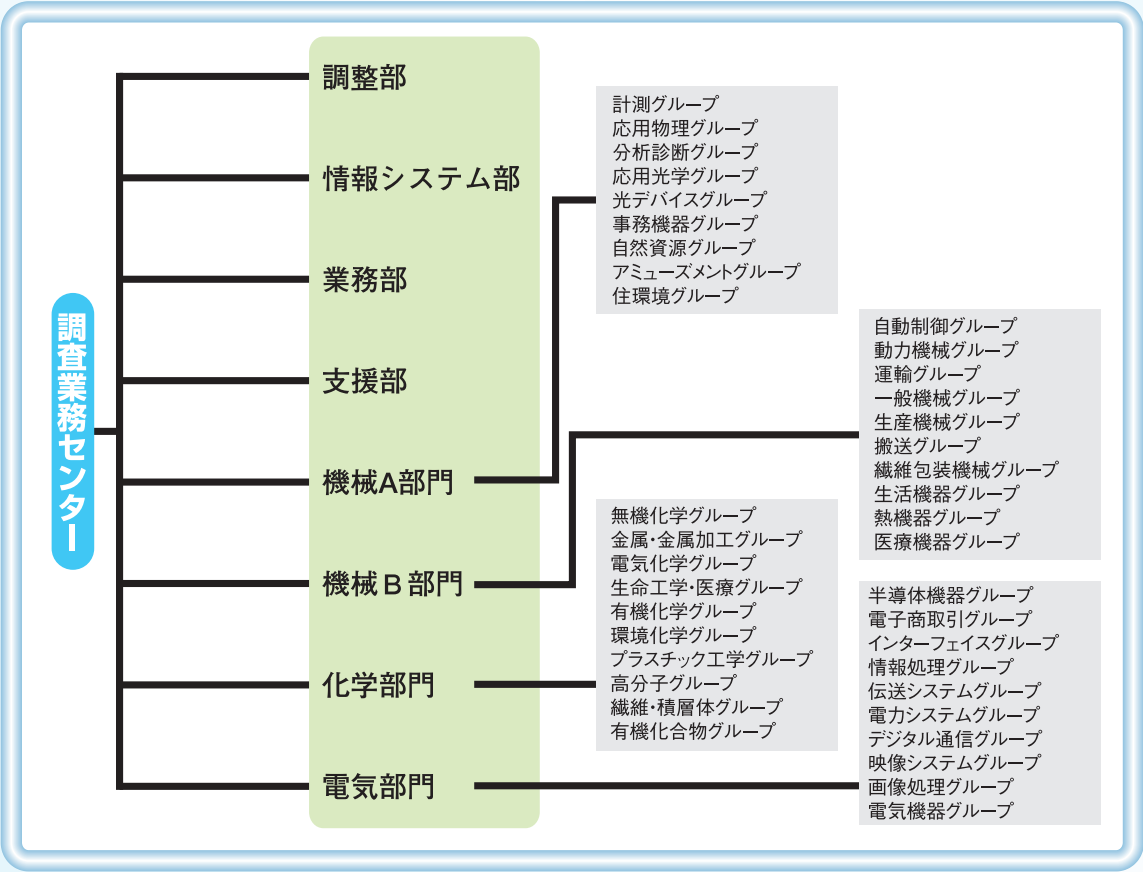
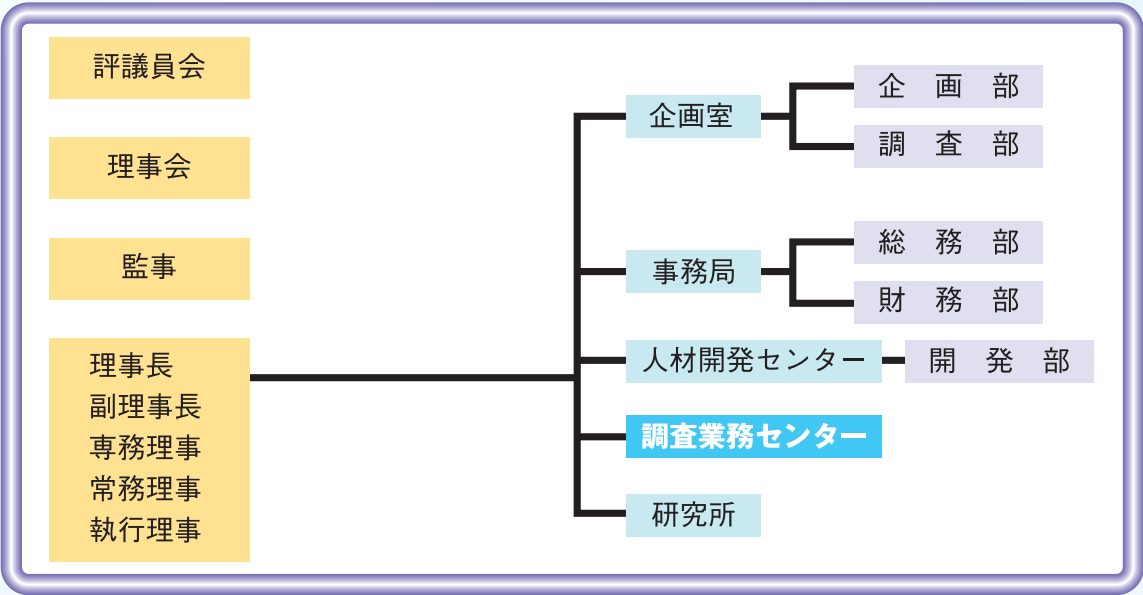
■特許分類付与：約31.3万件

■F ターム付与：約88万件



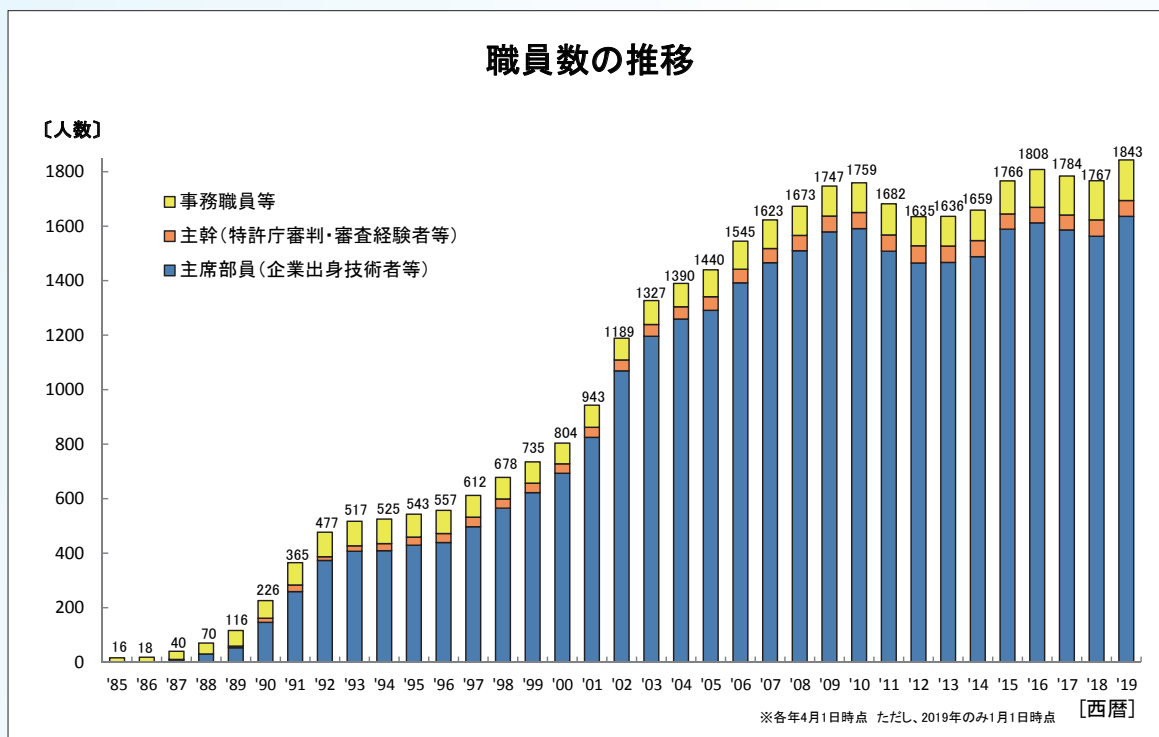
組織

- IPCCは、特許庁と類似する組織構成となっています。
- 調査業務センターでは、39の技術分野ごとのグループに分かれて業務を行っています。

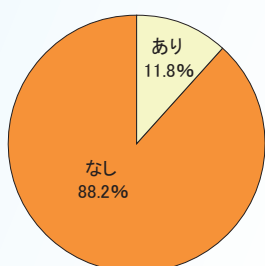




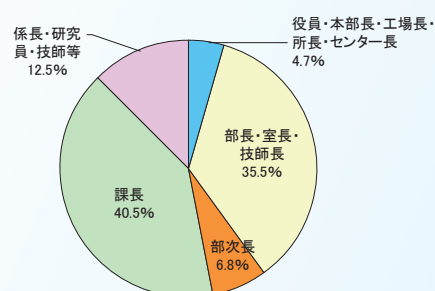
- 全役職員数は、1,843名（2019年1月現在）です。
- 職員の約9割は、民間企業等出身の主席部員又は調査員と呼ばれる技術者が占めています。
- 技術分野ごとに主幹、副主幹が調査業務の統括及び指導をしています。



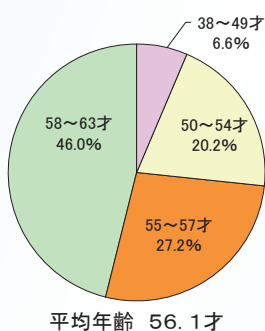
知的財産関係部署経験の有無



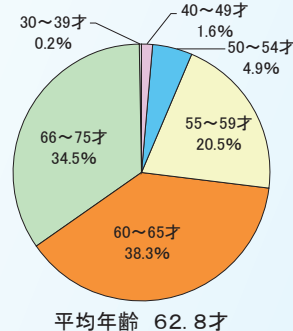
役職経験



採用時の年齢(過去5年)



現在の年齢



主席部員の業務

■ 先行技術調査業務が約8～9割、分類付与等の業務が約1～2割の業務量になります。

●特許庁審査官業務の直接支援

先行技術調査

国内特許文献サーチ

外国特許文献サーチ

特定技術分野独自サーチ (STN、3GPP、IEEE 等)

外国特許庁での審査経過の調査 (米、欧、中、韓等)

●特許庁審査官（検索）業務の環境整備

分類付与等

特許出願に特許分類とFタームを同時(一元)付与

特許文献(公開後)への分類の再付与

●出願人等の先行技術調査の支援

求められる人材

高い技術力

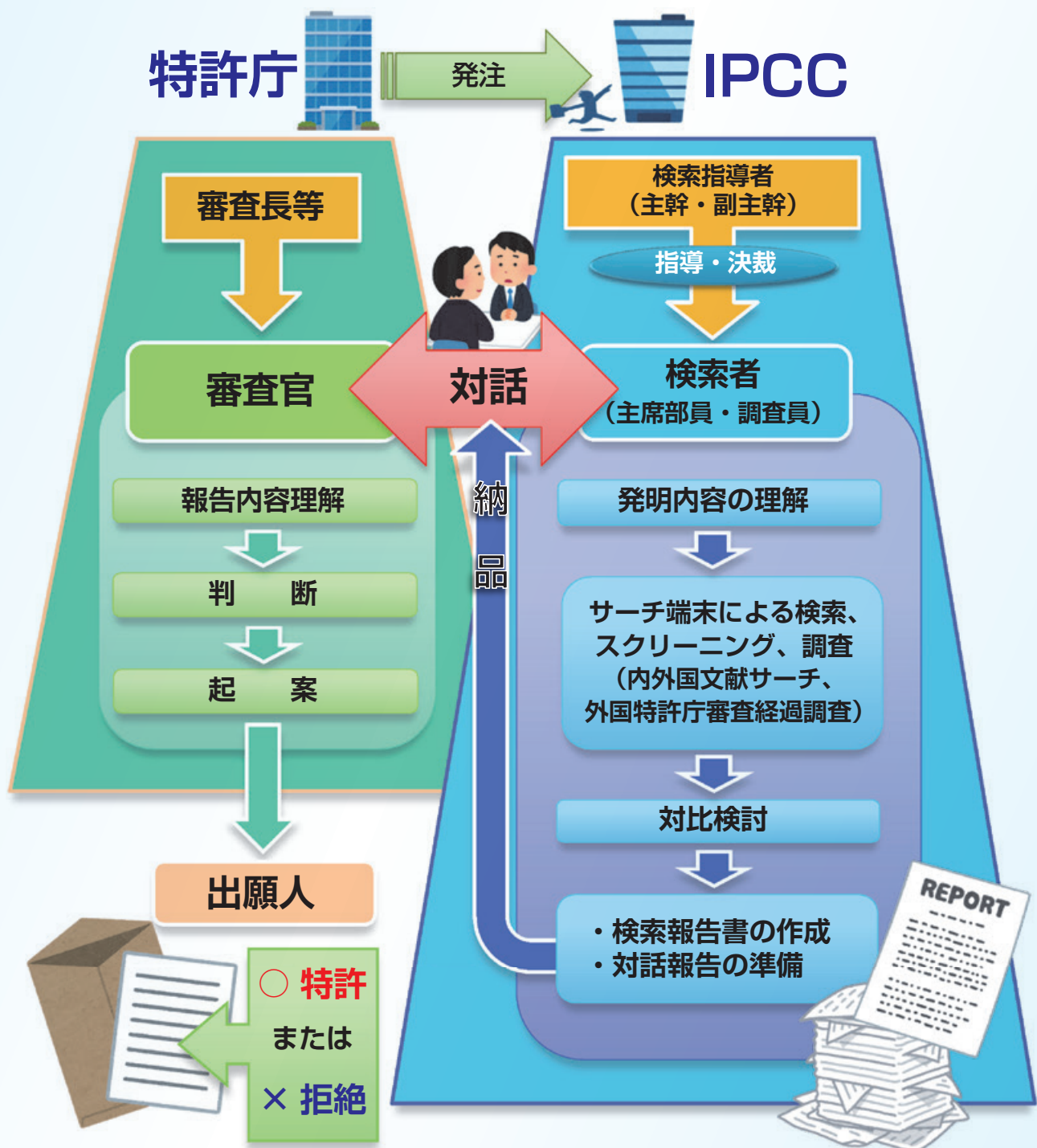
検索者

コミュニケーション力

英語力

先行技術調査業務の概要

- 特許庁の審査官に對面で発明の内容、検索結果等について口頭報告（対話）します。
- 技術分野により異なりますが、月に4～10件程度、調査・報告をします。
- 検索報告は、審査官による特許性の判断のための重要な材料となります。
- 検索報告書は、特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）を通じて全ての人に参照可能となります。



1日を知る

◆機械B部門 動力機械グループ 河村 裕司さんの「ある1日」を見てみましょう◆

◆出勤 8:30 ～

フレックスタイム制を利用して早めに出勤します。
今日は午前中から特許庁での対話報告を予定しているので、
出発までの時間は対話準備のため報告資料の読み直し等の
復習の時間に充てます。



◆特許庁での対話報告に出発 9:00 ～

連絡バスに乗って特許庁へ。専用連絡バスがあるため、
雨の日でも濡れずに特許庁へ向かうことができます。



◆特許庁での対話報告 10:00 ～

審査官への報告資料の説明の際は、本願と引用文献の対比
ポイントを簡潔かつ明瞭に説明できるよう心がけています。
報告が終了すると再び連絡バスに乗ってIPCCに戻ります。



◆お昼休み (60 分) 12:00 ～

昼休みになるとオフィス内で販売されている弁当を購入
してランチタイム。栄養バランスのとれた昼食をとって、
午後からの業務も頑張れるよう気分転換します。



◆文献精読・検索 15:00 ～

午後は、次の検索案件の精読と検索を行います。
案件について疑問点等があれば、すぐに主幹に相談し、早々
に解決できるようにします。また、検索業務の合間を縫っ
て一元付与、公開後解析業務を行う日もあります。



◆同好会活動 17:45 ～

今日は書道部の活動に参加します。集中して「書」の作
成に取り組むことで、リフレッシュにつながります。



ワークライフバランスのとれた充実した職場 IPCC

◇ 今までの技術・研究開発の経験を生かすことができる

IPCCでは、今までの技術・研究開発に関する経験を活かし、新しいことにチャレンジする意欲のある方を歓迎します。

なお、IPCCに入団する主席部員のうち、9割近い人が知的財産関係部署での経験がありません。知的財産関係の知識については、入団後の研修を通して、身に付けていただきます。

そして、研修修了後はそれらの知識・経験を活用してずっと業務を続けていっていただきます。

◇ 社会に大いに貢献する仕事ができる

IPCCの仕事は、直接社会に大きく貢献する業務です。主席部員の行う先行技術調査は、特許権の付与に大きく影響します。ひいては、企業の知財戦略や経営戦略、さらには産業の発展にも影響するといっても過言ではありません。なお、作成した検索報告書は、特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）を通じて、重要な知財情報として全世界からアクセスされることになります。

◇ 常に最新の技術に接することができる

IPCCでは特許出願の内容を常に分類付与業務等を通じて見ることになりますので、いち早く担当技術分野の最新の技術に接することができます。

◇ 67 歳、最長 73 歳まで働くことができる

主席部員・調査員の平均年齢は62.8歳（2019年1月現在）です。60歳以上の方が数多く活躍しています。IPCCでは、業務量の状況にもよりますが、健康面・勤務面等に問題がなく成績良好で働く意欲のある方であれば、最長で73歳まで働くことができます。

IPCCに採用される主席部員は、一年契約の嘱託員として、67歳を上限に雇用します。67歳以後においても、一定の条件を満たした人は、更に70歳まで調査員として、また、特定の技術分野ではその後73歳まで特任調査員として働くことができます。

なお、企業からの出向職員としてIPCCに採用された主席部員は、出向元企業を退職した後、一定の条件を満たせば、IPCCの直接雇用に移ります。

嘱託員（3年目）の年収は、約630万円（標準的な業務量を遂行した場合）です。

◇ 各人の状況に合わせた勤務形態

IPCCではフレックスタイム制（コアタイム10：00～15：00）を導入しています。

3年目以降になると目標業務量選択制度が適用され、各人の状況に応じた業務量の増減が可能です。

68歳以降に適用される調査員制度では、勤務日数の選択（フルタイム、月15日、月10日）も可能です。

通勤手当は月額上限100,000円が支給されるため、新幹線通勤も可能です。

単身赴任手当は、距離に応じて支給（例；大阪、京都、神戸 月額66,500円）されるため、遠方からの単身赴任者も数多く勤務しており、家賃補助は、賃貸借契約を結んでいる方について、月額上限50,000円が支給されます。（ただし、調査員は条件が異なります）

このように、通勤、育児、介護等の各人の状況に合わせた勤務形態・処遇制度になっております。（ただし、出向者は出向規定によります）

◇ 採用後の手厚い指導・研修体制

IPCCに採用された主席部員が、特許庁から受注する調査業務を行うためには（独）工業所有権情報・研修館（INPIT）が実施する「調査業務実施者育成研修」（約2カ月間）を必ず修了する必要があります。

IPCCでは上記研修を入団後すぐに受講していただきます。なお、研修受講費用についてはIPCCで負担します。

また、IPCC独自の初任研修も実施し、育成研修修了をサポートし、高い修了率となっています。

加えて、入団後も任用後研修や一般教養研修等を実施し、各人のレベルアップを図っています。

◇ 最も歴史があり、全技術分野に対応した登録調査機関

IPCCは、昭和60年（1985年）に工業所有権に関連する調査を行う機関として設立されました。

平成16年（2004年）から登録調査機関（第1号）として全技術分野の調査業務を毎年継続的に行っており、最大のシェアを占めています。そのため、過去の技術経験から最適な分野をできるだけ安定して担当いただけます。

なお、入団後、一定期間経過後に担当可能分野を拡大するため、関連する技術分野の研修への受講を推進しています。

◇ 高年齢者雇用の工夫が評価され、コンテストに入賞



IPCCは、多くの優秀な高齢技術者に活躍いただいている団体であり、高年齢者が長い職業人生の中で培ってきた知識や経験を職場で有効に活かしていることが評価され、厚生労働省及び独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が主催する平成30年度高年齢者雇用開発コンテストにおいて、機構の優秀賞を受賞しました。

◇ 整備された職場環境

平成22年（2010年）に新築の木場オフィスに移転し、充実した職場環境が整っています。



執務室内風景



主席部員の座席



面談室



パソコン研修室

IPCCでは、特許庁の審査官が用いている機器と同じ機器を用いています。加えて、IPCC独自の検索報告書作成や、分類付与の業務を効率化するための多数のソフトを利用可能としています。

また、パソコン操作能力を向上させるため研修室を設け、実機を用いた講習会を随時実施しています。

さらに、IPCC⇄特許庁の直行専用連絡バスを運行し、審査官との対話の際にご利用いただいています。



特許庁との専用連絡バス

◇ 充実した業務支援体制



業務支援メンバー

IPCCでは、主席部員が様々な業務を円滑に行っていただけるよう、各部門内に業務支援部員を配置し、各種案件の配付や、納品物チェック、執務環境の整備、業務上必要な技術専門書の購入管理等を行っています。

さらに、パソコン操作に関するヘルプデスクも常時開設しています。

また、新規入団された方が、配属された部門の業務に早期に慣れ親しんでいただくためのサポートも充実しています。

◇ 安心できる健康管理

IPCCでは産業医が常駐する健康管理室を設置しており、内科一般の健康相談やメンタルヘルス相談を実施しています。

また、毎年、X線直接撮影、心電図、エコー検査等、約25項目もの定期健康診断及び業務の特殊性を考慮した精密なVDT検査を実施しています。

さらに、オフィス内でヘルスキーパーによるマッサージをいつでも安価に受けられる体制を整えています。



健康管理室



マッサージ室

◇ 多種多様なクラブ活動

IPCCでは職員の親睦や心身の健康維持を図るため、数多くのクラブが活動しています。

テニス同好会、健歩会、野球同好会、楽走会、スキークラブ、太極拳同好会、フットサル同好会、山楽会、健康増進くらぶ、卓球同好会、水泳同好会、自転車同好会、楽碁会、将棋倶楽部、ブリッジ同好会、ダーツクラブ、釣友会、パソコン同好会、ハムクラブ、楽理会、マジッククラブ、ものづくり工場見学同好会、楽謡会、カナ排句会、楽書会、遊画会、写真倶楽部、吟遊会、陶芸倶楽部、漢詩同好会、アタゴスピリッツバンド、合唱団、弦楽アンサンブル、尺八同好会、楽英会、中文同好会、ロマンス語同好会



1. テニス同好会



2. 健歩会



3. 野球同好会



4. 楽走会



5. スキークラブ



6. 太極拳同好会



7. フットサル同好会



8. 山楽会



9. 健康増進くらぶ



10. 卓球同好会



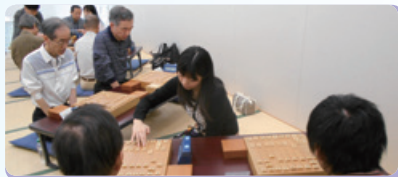
11. 水泳同好会



12. 自転車同好会



13. 碁碁会



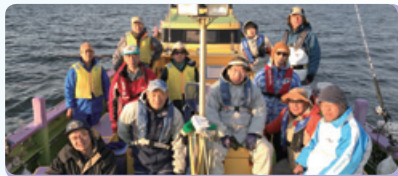
14. 将棋倶楽部



15. ブリッジ同好会



16. ダーツクラブ



17. 釣友会



18. パソコン同好会



19. ハムクラブ



20. 楽理会



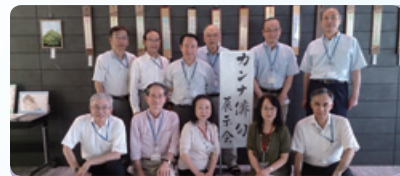
21. マジッククラブ



22. ものづくり工場見学同好会



23. 楽謡会



24. カンナ俳句会



25. 楽書会



26. 遊画会



27. 写真倶楽部



28. 吟遊会



29. 陶芸倶楽部



30. 漢詩同好会



31. アタゴスピリッツバンド



32. 合唱団



33. 弦楽アンサンブル



34. 尺八同好会



35. 楽英会



36. 中文同好会



37. ロマンズ語同好会

対話はステージだと思っています



電気部門 伝送システムグループ 佐藤 兼一 (2015年4月入団／電機メーカー出身)

育成研修とフォロー体制

特許法など技術者にとって新しい領域になるので苦労しました。文書を読んで理解することや検索報告書の作成、グループディスカッションもあり、研修期間中はほとんど余裕が無く、特に面接試験の準備は大変でした。それに対するIPCCのフォロー体制は万全で、育成研修のスケジュールに合わせたプログラムが組まれており、非常に助かりました。

今後の目標

審査官からとてもよい報告だったと言って頂ける仕事がしたいです。対話は自分の仕事の発表の場だと考えており、趣味のバンドでステージに立つのと同じ気持ちで挑んでいます。これからも高品質な検索を効率的に出来るようにしたいです。また、今年度から後輩の指導役にもなりましたので、より良い検索者を育てることも課題だと思っています。

IPCCへの応募を検討されている方へ

IPCCは60歳を過ぎても、いつまでも現役で技術を活かした仕事ができます。社会貢献度の高い仕事でもあるので、非常にやり甲斐があります。プライベートの時間も十分に確保出来るので、公私ともに充実した人生を送りたい方にぴったりです。応募を検討されている方は、ぜひ挑戦してみてください！そして一緒にセカンドキャリアライフを楽しみましょう!!

女性にとっても、充実した職場環境です



機械B部門 繊維包装機械グループ 星野 裕美 (2014年10月入団／電機メーカー出身)

性別の垣根無い仕事

バックボーンの異なる人々の集団ですが、皆、互いに対等な立場で仕事をします。女性だからといって身構える必要はありませんので、非常に働きやすい職場です。毎月開催している女子会では、普段各々の分野で業務に集中している女性主席部員が集まりお喋りに熱中します。その中で日頃抱えている疑問が解決することもあり、良いリフレッシュの場となっています。

ワークライフバランス

仕事をする上でのさまざまなバックアップ体制が整っていますので、間接業務に時間を割かれることはほとんどなく、本来の業務に専念できます。また、フレックスタイム制が導入されていますので、必要に応じて時間を柔軟に変更し、ライフスタイルに合わせた勤務が可能です。オフィス近隣の環境も良く、ギャザリアの花壇を眺めながら季節の変化を楽しんでいます。

IPCC LIFE

先端技術にかかわりながら、自身の持つ技術的素養を活かすると同時に、知的好奇心が満たされる職場です。先行技術調査や分類付与等に取り組む中で更に知識を拡大することができ、業務の質を高めることにつながっていきます。

日々進歩する技術を知り、挑戦する毎日です



機械A部門 自然資源グループ 利根川 保 (2012年1月入団／建材メーカー出身)

異分野へのチャレンジ

現在担当しているのは元々の専門ではない分野で、機械系と化学系の中間の分野を担当しています。最初は戸惑いがありましたが、自分のバックボーンを活かしつつ、新しい分野の技術も吸収できるので非常にやり甲斐があります。

また、前の企業でも65歳までは再雇用で働くことはできましたが、総収入ではIPCCの方が多く、何よりも意欲があれば73歳まで業務量や勤務日数を変えながら働けるのは魅力です。

Club in IPCC

入団して間もなく、同好会（健歩会）のオープン行事に参加したことがきっかけで、今でも続けています。運動にもなりますし、普段話す機会のない人とも会話ができます。他の企業出身や他の技術分野の人、またそのご家族と話すことも良いリフレッシュになっています。

IPCC LIFE

IPCCの業務は、これまでの仕事よりもさらに専門的な知識が吸収できます。決して楽ではありませんが、個人のペースで仕事ができ、余裕を持って働くことができます。今まで知財に触れてこなかった方でも、良い刺激を受けながら長く働ける環境です。

自分のペースで長く続けられます



機械B部門 運輸グループ 栗原 修 (2006年1月入団 / 機械メーカー出身)

生涯現役で活躍できる

良い環境の中で仕事ができ、新しい技術からも刺激を受けます。余計な雑務が無いので年を取ってもマイペースで仕事ができます。毎日文献を多く読みますが、70歳を超えても毎日元気で頑張っています。

月の勤務日数も選択できる

私は月15日勤務を選択しており、月の半分は仕事、残りの半分は休みなので充分に余暇を取りながら仕事をしています。また、仕事量は1年ごとに選択できますので、自分の体力や気力に合わせて変えることができます。

IPCC LIFE

第二、第三の人生として、長く働きたい人には良い職場です。最初は大変ですが、だんだん慣れてきます。やればやっただけ報酬がもらえるので、すごくやり甲斐のある仕事です。

主席部員から副主幹への登用、そして主幹へ



機械B部門 搬送グループ 上岡 充生 (2013年1月入団／電機メーカー出身)

管理職への道

副主幹時代は指導と実務が半々だったのが指導のみとなりました。他機関との競争環境下での次年度業務量確保のための対策等、個人の観点よりも組織の観点をより強く意識するようになりました。以前、先輩から「これからは自分のためではなく、人のために仕事をするように」と言われたのが心に残っています。

特許制度を支えるIPCC

出願された特許の請求範囲に対し、権利付与の可否及び権利範囲が適正かどうかを審査官と出願人の両方の視点で考えて検索し、結果を提示します。これらを通じ、特許審査に貢献でき、かつ、特許制度の根幹を実質的に支えていると実感できます。

IPCC LIFE

覚悟を持って臨んでほしいと思います。これまでに経験した技術知識が活かせる反面、多くの技術者にとっては未経験の仕事です。チャレンジ精神のある方が、緻密性と柔軟性を備えていれば、この上ない適任者だと思います。仕事に慣れるまで約2～3年は必要ですが、自分なりのやり甲斐や楽しみ方を見つけることができ、長く続けられる仕事です。

採用までの流れ

応募 ※事前相談も可

- 応募フォーム(ホームページ参照)から申し込み(随時受付)

書類審査

- ・ 資格要件のチェック(学歴、科学技術経験年数)
- ・ 技術的経歴等のチェック(募集技術分野とのマッチング)
※技術面接前に直接お話を聞かせていただくこともあります。(事前面談)

約2～4週間後

技術面接

- 応募者が自己の技術的経歴及び特許公報(ホームページの募集技術分野一覧参照)に記載の技術内容について説明
- ・ 技術的理解力(発明のポイント把握能力も含む)の評価
- ・ 説明能力の評価
- ・ 英語文献読解力の確認

約2～4週間後

サーチ結果報告面接と役員面接 ※原則同日に実施

【サーチ結果報告面接】

- 上記特許公報について先行技術調査結果の説明(専門技術者業務の体験)
- ・ 業務への適性確認

【役員面接】

- ・ IPCCでの業務の認識度、意欲の確認等

採用内定 → 入団

- ・ 入団時期は4月、7月、10月、1月です。 ※採用内定は原則、入団日の1ヶ月前までに決定

よくある質問

➤ 知財の経験がなくても応募できますか

できます。

知財部の所属、特許出願や先行技術調査経験の有無は関係ありません。

これらの経験がなくても、業務に必要な知財に関する知識は、入団直後に研修を受けて修得していただけますので、技術・研究開発に関する経験が十分おありの方はご心配無用です。

➤ 募集分野を知りたいのですが

ホームページの「募集技術分野一覧」をご覧ください。

募集技術分野一覧には、分野名・IPCカバー範囲・当該分野の例示用特許文献番号（技術面接試験問題）等の詳細な内容載せています。例示の特許公報については、記載の技術内容をご理解いただけるかどうか、応募（推薦）にあたっての参考として下さい。また、募集分野は随時更新しています。なお、募集がない場合（採用時期も含む）も、個別に相談に応じますのでご遠慮なくお問い合わせ下さい。

➤ 60歳以上でも応募できますか

IPCCの実務は一人前になるまでに2年～3年程度を要すること等を勘案し、**原則、採用時年齢は60歳まで**とさせていただいています。ただし、採用困難分野や、既に区分の資格を有する方等については、この限りではありません。

➤ 女性でも勤務できますか

全く問題ありません。フレックスタイム制度等もあり、働きやすい職場と考えています。是非、たくさん応募していただければと思います。

➤ 高等学校卒業でも応募資格はあるのでしょうか

ありません。

高等学校卒業の方で優秀な技術者がいらっしゃるの承知していますが、調査業務実施者の資格要件が法律で規定されています。大学、短大、高専を卒業し、一定期間以上の科学技術事務経験のある方に限られています。

➤ 応募方法について教えてください

ホームページから、応募書類（先行技術調査及び分類付与技術者候補者リスト）をダウンロードの上、必要事項を明記し、採用エントリーのお申込みフォームからご応募ください。なお、郵送での応募は受け付けておりません。ご不明の際は、ご遠慮なくお問い合わせ下さい。

よくある質問

➤ 面接の合格率はどの程度ですか

昨年度、書類審査後の技術面接での合格率は約8割でした。

不合格理由は技術分野のミスマッチ等による提示公報の理解不足、説明力不足によるものが主です。面接は、特許庁審査官との対話を想定して行います。不合格理由が技術のミスマッチと
いう場合には、他に適切な分野があれば再度応募できます。

➤ 昇給はありますか

ありません。

1年更新の嘱託契約であることにご留意下さい。なお、年度ごとに選択するコースの業務量によって処遇がかわります。

➤ 昇任はありますか

あります。

副主幹さらに、主幹（管理職）への登用制度があります。

➤ 介護、育児と両立することは可能ですか

入団3年目以降は業務量のコースを選択することができます。また、フレックスタイム制を導入していますので、個々の状況に応じた勤務形態をとることができます。

➤ 採用実績を教えてください

平成26年度208名、平成27年度193名、平成28年度140名、平成29年度152名、平成30年度144名（機械75名、化学33名、電気36名）です。



サーチ子さん※

◆ お問い合わせ先 ◆



つけつけ君※

〒135-0042

東京都江東区木場1-2-15 深川ギャザリア ウエスト3棟
一般財団法人 工業所有権協力センター
人材開発センター 開発部 採用課

ホームページ : <http://www.ipcc.or.jp>

TEL 03-6665-7852

FAX 03-6665-7886

E-mail : ipcc-jin@ipcc.or.jp



Industrial Property Cooperation Center

一般財団法人 工業所有権協力センター



東京メトロ東西線「木場駅」4番出口から徒歩約5分